

# あおもり漁連

代表理事長 植村正治書

資源有限漁業無限

No.  
150

▶第六十年度通常総会



## CONTENTS

青森県漁業協同組合連合会通常総会	1	第9回青森県和船競漕大会	10
2009駆れ!! 協同組合運動「青森県漁民大会」	3	大型クラゲ情報	11
「沿振協のあゆみ」発行記念講演会	5	救命胴衣着用推進状況	12
青森県新漁業協同組合運動協議会設立	6	水産に関する主な動き（1月～7月）	13
「平成21年度補正予算・水産業に関する事業説明会」開催	7	青森ほたてキャラバン隊・親子料理教室開催状況	裏表紙
「ホタテの日」記念イベント	9		

2009.8

21世紀は漁村の時代

平成21年度（第60事業年度）

# 青森県漁連通常総会開催

去る、6月22日、青森県水産ビル7階「大会議室」において、青森県漁連平成21年度（第60事業年度）通常総会が開催され、平成20年度決算、平成21年度事業計画、監事監査細則の一部変更に関する件など6議案を審議し、原案通り承認決定した。

開催にあたり、植村県漁連会長は「漁業界においては、漁業・漁村にとって、血液とも言える燃油の高騰が漁業経営を圧迫し、自助努力による操業の限界を超えた厳しい内容となっており、昨年6月18日・19日の2日間、全国いか釣漁業協議会に加入する小型いか釣漁船が一斉休業を実施しました。7月15日には、全国の漁業者約4千人が東京に集結し、「漁業経営危機突破全国漁民大会」が開催され、国等に対し、燃油高騰対策の要請を行ったところであります。同時に、我が国漁業の歴史上、初めて全国で漁船約20万隻、漁業者約40万人が一斉休漁に踏み切り、浜の窮状を訴えたところであります。

これら一連の行動が功を奏し、国は燃油高騰で経営環境が悪化している漁業者に対し、省燃油実証事業費80億円を含む、総額745億円の対策費を20年度の予算から手当され、更に、高騰した燃油価格差補填を行うための省燃油操業実証事業を設け、補正予算で総額600億円を追加措置され、本県においては、省エネ推進協業体活動支援事業や省燃油操業実証事業を実施致しました。又、有害生物漁業被害防止対策事業では、毎年襲来しているトドの駆除対策を実施致しました。

金融の国際グローバル化によって、漁業金融の硬直化を招き、我々漁業者は大変な苦難の極みでございましたが、この度国への要請活動を行った結果、21年度補正予算で「漁業緊急保証対策事業」1,200億円、N・P・O等800億円が予算化されました。

本県の漁業者の経営対策については、平成20年度から5ヶ年事業として、漁業経営安定対策事業「積立プラス」がスタートしました。

ホタテ漁業につきましては、効率的な養殖を推進するため、「ホタテガイ適正養殖可能数量制度（T A S C）」が本年度から導入されたことから、漁業者の経営安定の指針とする事に積極的に協力致しております。

更に、漁業情勢が厳しさを増す中、浜の金融の円滑化と資源の回復は緊急の取り組むべき課題であり、この実現に向けて、協同組合精神の原点に立ち返り、漁業者の意識改革のもと、浜がひとつになってこの苦境を乗り越えて行く必要があります。このため、本年4月、青森県新漁業協同組合運動協議会を立ち上げ、漁業・漁村の絆を強め、協同組合組織の再生を目指し、「甦れ協同組合運動」を開拓することによって、浜に活力を与え漁業の発展に取り組んで参ります。

平成20年度の事業状況ですが、概ね計画を達成することができ、業務部門で奨励金及び施設助成金等で約4,500万円をお支払い致しております。このことは、各事業において効率的・合理的な運営を心がけ、鋭意努力して参りましたこともさることながら、会員皆様方のご支援・ご協力の賜と心から深く感謝申し上げます。」と挨拶を述べた。

続いて、来賓を代表して、三村申吾青森県知事（坪田哲水産局長代読）より祝辞があり、角田雄之岩屋漁協組合長を議長に選出し議事に入った。

議事は、第1号議案の平成20年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、注記表及び剰余金処分案に関する件を始めとする6議案が上程され、いずれも原案通り承認決定された。



会長挨拶



坪田水産局長



角田議長

# [平成21年度事業計画]

## ◎基本方針

漁業を取り巻く環境は、周辺水域の資源量の減少や燃油の高騰等により、未だ厳しい状況にあり、漁業者は更なる苦境に立たされていることから、本会としては、県・市町村・系統団体等との連携を強化し、漁協の経営基盤強化、並びに漁業金融の円滑化に取り組んで参ります。

また、資源量の減少や長引く原油高騰に伴う資材等の価格の上昇が追い打ちをかけ、漁業生産に係るコスト高が漁業経営を圧迫しておりますが、省エネ対策等を推進し、生産コストの削減を図り、また、平成20年度からスタートした漁業経営安定対策事業の普及推進に努めるほか、漁業者の経営安定と、漁業経営指導や漁政対策等にも積極的に取り組んで参ります。更に、産地価格のアップを図るため、本県産魚介類の消費拡大やブランド化を目指した取り組みを関係機関と共に推進して参ります。

## 記

### <重点推進事項>

1. 漁協の経営基盤の強化並びに漁業金融の推進
2. 各種漁業の共存共栄を図るための諸対策
3. 各種漁業の生産基盤強化及び増養殖事業の推進
4. 漁家・漁協経営の安定・向上
5. 水産物の価格向上及び付加価値向上
6. 水産物の衛生管理
7. 水産物及び水産製品の消費拡大
8. 漁業用石油類及び資材類の安定供給
9. 漁業環境保全
10. その他漁業者及び漁協の経営に資する事項並びに漁業振興に資する事項



総会会場風景

# 2009 鮎れ!! 協同組合運動 「青森県漁民大会」開催

去る7月27日、青森県漁業協同組合連合会、青森県漁業経営安定対策本部、並びに、青森県新漁業協同組合運動協議会が主催する“2009鮎れ!! 協同組合運動「青森県漁民大会」”が青森市民ホールで開催された。

この大会は、漁獲不振や慢性的な魚価安・環境・漁場問題等多くの不

安要素が、将来的に安定した漁業経営の障害となっている中、現状の諸問題を認識し、漁業者の意識の向上・高揚を図るとともに、「漁業金融」と「資源管理」を最重要事項に掲げ、この状況を開示し浜の再生と活性化を目的として開催したものである。

大会には、来賓に田中順造青森県議会議長を始めとして、木村稔JF全漁連副会長（東北地区漁業漁協対策協議会代表）、大井誠治JF岩手県漁連会長、福島県漁連・信漁連の両専務を迎えて、そして県内漁業関係者約500名が参加した。

角田順一JF下前漁協組合長の開会で始まり、主催者を代表して植村県漁連会長が、「資源の回復と漁業版金融回復のため、漁業協同組合運動の原点に立ち帰っての研鑽努力をし、その実現のため一致団結する事を深く認識するため、この青森県漁民大会を開催致しました。」と挨拶した。続いて、来賓の田中県議会議長及び木村JF全漁連副会長より御祝辞をいただいた。

続いて、東京大学社会科学研究所の加瀬和俊教授が、「漁業振興政策と漁業金融の役割」と題し、「漁業政策の内容は、漁業の発展段階や金融機関行政のあり方によって異なるべきであるとの事実に注意を向け、あるべき漁業政策、漁業金融政策のあり方について考える」とする内容の基調講演を行った。



壇上の風景



開会する角田組合長



植村県漁連会長



田中県議会議長



会場の参加者



木村全漁連副会長



講演する加瀬教授

また、4名の代表者による意見表明では、三國優JF野牛漁協組合長が「いか釣漁船の資金繰りと省エネ対策」について、遠島勝広JF平内町漁協常任理事が「漁業安定対策（積立プラス）とホタテガイ適正養殖可能数量制度（TASC制度）」について、吉田幸久（有）吉田漁業部社長が「資源管理問題」について、佐藤博JF小泊漁協組合長が「漁業金融問題」について、それぞれ発表した。

最後に、西崎義三信漁連会長が読み上げた大会決議は、満場の拍手をもって採択され、三津谷廣明JF平内町漁協組合長の閉会で大会は盛会のうちに終了した。



## 大 会 決 議

水産資源の悪化や魚価の低迷に加え、長期化する燃油高騰、更には漁業就業者の高齢化と担い手不足等、継続的漁業ができなくなることさえ危惧されます。

本県は全国でも屈指の水産県であり、これまでの栽培漁業及び資源管理型漁業の推進に、漁業関係者が一体となり取り組んできたところであります。

「魚の存続する海づくり」「沿岸・沖合漁業の共存体制による継続可能な漁業の確立」等、私たち浜の活性化に向けた改革を一致団結し実現に向けて取り組んでいかなければなりません。

また、自然環境に左右されがちな漁家経営の安定策には、「ぎょさい」に加入をし、万一の場合に備えておくことは重要ですが、加入し易い条件緩和等の改善が必要ではないでしょうか。

加えて、漁業経営の血液ともいえる資金繰りについては、現状の金融制度では浜の現状に十分対応できる状況にない事は、喫緊の問題として緊急に対策を求めるものであります。

本大会では、継続可能な漁業のために、水産資源確保による漁業所得の向上と、漁業経営の維持・安定に欠かすことのできない漁業金融を円滑化させるため、「ぎょさい」及び融資保証・保険制度の運用の拡充の実現に向け、下記事項について、青森県漁民の総意としてここに決議いたします。

### 記

#### 漁業金融について

- 「漁業緊急保証対策事業」の官民一体となった効果的推進
- 漁業の実態に即した「漁業版金融検査マニュアル」の創設

#### 資源管理について

- 漁家経営の継続的安定のため「ぎょさい」の拡充と加入推進
- 沿岸・沖合漁業の共存共栄体制と大臣・知事許可漁業の整合性の確立

2009年7月27日

2009甦れ!! 協同組合運動「青森県漁民大会」

# 「沿振協のあゆみ」

発行記念講演会開催

去る、6月22日、青森県水産ビル7階「大会議室」において、「沿振協のあゆみ」発行記念講演会が開催された。

講演会は、始めに、(財)青森県沿岸漁業振興協会の設立に関する経過について、「沿振協のあゆみ」記念誌執筆者の上坂幸雄県漁連職員より報告、続いて主催者を代表し(財)青森県沿岸漁業振興協会の植村正治精算人により挨拶、そして青森放送(株)取締役の野月輝昭報道制作局長より、「原子力船むつとの闘いが残したもの」と題して講演された。



植村精算人



野月報道制作局長

## 【(財)青森県沿岸漁業振興協会の設立に関する経過】

日本初の原子力船「むつ」は、新しい時代の海洋観測船として計画され、昭和45年7月19日、むつ市大湊港に入港した。(その後昭和47年原子炉を搭載)

原子力船「むつ」は昭和49年8月26日午前0時45分、嵐の中強行出航し、9月1日、尻屋崎東方沖1,000kmにおいて、出力上昇試験を行ったが、放射線漏れ事故を起こし実験を中止した。

これを機に、9月5日、むつ湾漁民約4,000人が集合し、「原子力船むつ母港反対むつ湾漁民総決起大会」を行った。

このような経緯を背景に、一連の原子力問題における風評被害等の不安解消と漁業振興対策のため、魚価安定基金が創設され、財団法人青森県沿岸漁業振興協会が設立された。



強行出港に抗議して「むつ」を包囲する漁船団

### 1. 設立 昭和57年11月12日

### 2. 事業

#### (1) 魚価安定対策事業

- ①買支事業（風評被害があった場合の買支を行う）
- ②基金造成（17億円の基金運用益で事業を行う）
- ③魚価動向調査事業（基準魚価を定めるため、県内外の市場の魚価の実態の調査）

#### (2) 魚価安定に資する事業

冷凍、冷蔵、製氷、貯氷、保管、荷捌、運搬、畜養施設整備への助成。

#### (3) 沿岸漁業振興対策事業

栽培漁業振興、沿岸漁場開発及び沿岸漁場管理等の指導、漁業従事者等の育成対策、水産業経営安定対策、沿岸漁業振興調査情報事業への助成。

### 3. 事業実績

魚価安定に資する事業、沿岸漁業振興対策事業については、昭和58年度から平成18年度までの24年間に亘り、漁協等に助成をし、魚価安定に資する事業については、7億1千5百万円、沿岸漁業振興対策事業については、9億9千2百万円、合計で17億7百万円の事業実績となった。

### 4. 解散

原子力船「むつ」の使用済み燃料が東海村に移送されたことにより、風評被害がなくなったことから、魚価安定基金制度は平成18年度を持って終了（基金が0円）することになった。

平成19年2月1日、理事会を開催し、3月31日に解散をすることを決めた。

### 5. 記念誌作成

理事会の中で、これまで、沿振協が行ってきた事業を記録として残しておくことになり、記念誌を作成することとなった。

# 『青森県漁村活性化対策協議会』解散 と 『青森県新漁業協同組合運動協議会』設立

平成2年10月、“21世紀に向けた活力と魅力溢れる自信に満ちた漁村づくり”を目的として「青森県漁村活性化対策協議会」(会長 植村正治)が設立され、以来、漁村のすばらしさや伝統文化を紹介する活性化大会を開催する等、漁村の活性化に向けた事業を積極的に展開してきたが、当初の目的を達成したことにより、平成21年4月に発展的解散をし、替わって“浜のニーズ” “時代のニーズ”に応えるための新たな協議会が設立された。

新たな協議会は、漁業情勢が厳しさを増す中、今こそ協同組合運動の原点に立ち返り、漁業者の意識改革のもと、浜がひとつになってこの苦境を乗り越えていくべきとの考え方から、“甦れ!!協同組合運動”を旗印に、漁業・漁村の絆を強め、強い協同組合組織を再生し、浜に活力を与え、漁業の発展に資することを目的に設立されたもので、「青森県新漁業協同組合運動協議会」(会長 植村正治)と命名された。

浜の金融の円滑化、資源の回復等、浜のニーズでもある緊急に取り組むべき課題もあり、今後、本協議会の目的達成に向け、課題を克服しつつ、各種事業を積極的に推進していくこととしている。

## 《青森県新漁業協同組合運動協議会・役員》

役 職	氏 名	所属団体及び役職
会 長	植 村 正 治	青森県漁業協同組合連合会 代表理事長
副会長	長谷川 公 康	青森県信用漁業協同組合連合会 専務理事
〃	小 出 政 明	青森県漁業協同組合連合会 専務理事
委 員	米 谷 聰	青森県漁業信用基金協会 専務理事
〃	佐 藤 由 信	青森県漁船保険組合 専務理事
〃	工 藤 洋 悅	青森県漁業共済組合 専務理事
〃	池 田 淳 一	共水連東北事業本部青森支店 支店長
〃	原 田 邦 治	(社) 青森県漁港漁場協会 専務理事
監 事	花 田 一 正	青森県信用漁業協同組合連合会 参事
〃	清 藤 進	青森県漁業信用基金協会 参事



# 平成21年度補正予算・水産業に関する事業説明会 開催

去る7月8日、青森県水産ビル7階「大会議室」において、青森県漁連と青森県漁業経営安定対策本部主催の「平成21年度補正予算・水産業に関する事業説明会」を開催し、漁協組合長及び筆頭職員、県及び市町村、水産関係団体担当者の約150名が出席した。

冒頭、主催者を代表し、植村県漁連会長から、「浜の金融事情、水産資源等逼迫した諸情勢が続いているが、打開すべき対策としてこの度、国において諸事業が予算化された。継続性ある漁業経営を図り、積極的に有効活用して頂きたい。」と挨拶を述べた。

続いて、西崎信漁連会長から「水産業界の抱えている様々な諸問題を提起。金融問題に対して、継続的政策活動を要することから、その拠点として“青森県浜の金融推進協議会”立ち上げの旨を、又、地域的・共通的問題への対処として、より高い効果を目的として強力な展開活動を行うために、“東北地区漁業漁協対策協議会”立ち上げた旨を報告。更にその成果として、補正予算でかつてない効果的な水産業緊急保証事業が得られた旨が説明された。本県は三方を海に囲まれ、海岸線760kmを有する水産県である。農業・中小企業同等の手厚い支援が得られるよう活動して参りたい」と挨拶を述べた。

引き続き、来賓として井上水産庁沿岸沖合課室長より「昨年度の燃油高騰に対して、浜の声によって補正予算措置がとられ省燃油実証事業が実施された。幸か不幸か、燃油価格が下がり一息ついたところである。今回の事業は、これを機に全国の漁業者、国会議員からの要望に沿った形で、足腰の強い漁業経営の土台作りを考慮し、陸上から船上及び融資に至るまで総合的観点から知恵を絞った事業となっている。本日は、三つの事業に絞っての説明となりますが、是非活用頂きたい」と挨拶を頂いた。

事業説明では、注目度の高い新事業及び緩和された継続事業である

- (1) 水産緊急保証事業
- (2) 漁業経営体质強化事業
- (3) 水産物産地販売力強化事業

について、米谷青森県漁業信用基金協会専務及び小林水産庁水産経営課係長並びに福島加工流通課課長補佐より説明がされた。

続いて、市村全漁連漁政・国際部部長役より、水産予算に関する事業の今後について「本補正予算に関する事業は、燃油対策を引き継ぐ形で構築、漁業経営体质の強化が目的であり、要件緩和、対象拡充された内容となっている。本年度の大型予算を受け、また、法人制度の改革で補助金制度が規制されたことにより、全漁連ではNPO法人水産業・漁村活性化推進機構を立ち上げ、認可され公益的活動の推進体制を整えている。本年度は、本事業の運営が主とした活動となりますが、継続事業等のやり取りの混乱を避け、引き続き全漁連等を補助事業者とし、協力して事業を運営して参ります」と説明がなされた。



植村県漁連会長



西崎信漁連会長



井上水産庁  
沿岸沖合課室長

## 【漁業緊急保証事業の概要】

### (1) 趣 旨

資金繰りに窮している中小漁業者等における漁業活動の維持のため貸付の円滑化を図り、中小企業緊急保証支援策と同様の緊急保証支援を行う。

### (2) 事業内容

#### ①事業対象者

認定要件に該当する個人及び法人の中小漁業者

#### ②認定要件（下記①～③のいずれかに該当すること）

##### ○漁獲高（販売高）の減少

直近の漁期の漁獲金額等が前年同期対比—3%以上

##### ○燃油等原材料価格の上昇

燃油、飼料、原材料等のうち、漁業支出率10%以上を占め、10%以上高騰しているにも拘わらず、魚価に転嫁されていない。

##### ○利益率の低下

最近の漁期（一漁期）の利益率が前年同期比—3%以上

#### ③補償対象

全ての事業資金の保証支援。

#### ④保証限度額

2億8千万円（額によって担保・保証人に制限あり）

#### ⑤出資負担

保証申込み時の出資負担なし。

#### ⑥保証期間

10年以下（最大15年）

#### ⑦保証割合

所要額の100%を保証。

#### ⑧保証料

0.8%以下。

事業期間：平成22年3月末まで（3月上旬で引受締め切り予定）



米谷専務



小林係長



福島課長代理



市村部長役



説明会参加者

# 「ホタテの日」記念行事開催

6月18日

青森ホタテのPRと消費拡大のために、青森県漁業協同組合連合会とむつ湾漁業振興会は、平成10年度に毎年6月18日を「ホタテの日」と制定し、これを記念して、平成11年度から記念行事を行っており、今年も平内町の「ほたて広場」を会場に6月14日（日）に開催した。

記念行事では、始めに、ほたて供養祭が執り行われ、広場敷地内の「ほたて供養塔」前で植村県漁連会長、三津谷むつ振会長をはじめとする関係者並びにご来賓の方々約40名が、玉串を奉奠しながらほたて貝に感謝の祈りを捧げた。



礼拝をする植村県漁連会長



挨拶をする三津谷むつ振会長



無料配布に並ぶ来場者



ミニ縁日で楽しむ子供達



大抽選会

神事の後、引き続き平成21年度「ホタテの日」記念イベントが開催され、三津谷むつ振会長の主催者挨拶に続き、坪田水産局長が来賓の挨拶を述べた後、開会を待ちきれずに並んだ来場者先着1,000名にボイルホタテと、記念のウチワ、ホタちゃん風船が無料で配られた。

ミニ縁日コーナーでは、ヨーヨー釣りやキッズくじ等が行われ、子供たちに大変喜ばれていた。

この他、ほたて詰め放題やステージでの記念大抽選会、また、ホタテカレーやホタテソフトの割引販売もあり、イベントは大いに賑わっていた。

今年の来場者数は約3,500人。

## 第9回

# 「青森県和船競漕大会」開催



去る、7月19日（日）、青い海公園において、「第9回青森県和船競漕大会」が開催された。

この大会は、和船による海上交易が盛んだった往時を偲び、和船で櫂（かい）を漕ぐ技法の伝承を図るとともに青森県の夏の風物詩として、伝統的な行事に育て、新たな「発見」「感動」を見つけることを目的に開催されている。

和船競漕は、県内の漁協と一般から過去最多の33チーム（4人一組）が参加して、船の両側にあるタカマを軸に櫂を交互に漕ぐことから車櫂（クルマガイ）と言われており、全長200mのコースで予選6レースが行われた。

続いて、小学生・中学生の23名が参加して行われるボート競漕（直線100mのコース）、和船競漕の予選タイム上位6位までのチームで行う決勝は、風が次第に強くなつたため、中止となった。

なお、和船競漕の順位は、予選タイム上位6位までが入賞となった。

和船競漕に参加したチームからは、来年も参加して、是非優勝したいとの声が聞かれ、年々和船競漕大会への気運が高まっている。



開会式



選手宣誓（和山真人君、高橋明日香さん：左）



和船競漕予選レース

## ＜和船競漕の部の結果＞

順位	チーム名	所属	タイム
優勝	調査船やすかった	青森市漁業研究リーダー会	2'59
準優勝	後潟漁業研究会	後潟漁業協同組合	3'13
第3位	5普連1中海猿	陸上自衛隊第5普通科連隊第1中隊	3'14
第4位	F i v e t w o	陸上自衛隊第5普通科連隊第2中隊	3'55
第5位	北斗の拳漁連 海進丸	青森県漁業協同組合連合会 丸重木材工業(株)	3'57



# 大型クラゲ状況



- 6月29日（朝日新聞）：中国沖、昨年の200倍を観測（6月20日～6月24日調査）  
大被害を受けた07年と比べて約2.8倍  
被害最大05年と同規模予想
- 7月3日（新聞各社）：長崎県・対馬の浅茅湾の定置網で確認（6月30日）  
クラゲはかさの直径15～30cmで、200個体  
2005年度の大量発生の時と出現状況が類似
- 7月10日（読売新聞）：7月に入り、発見情報相次ぐ  
6月、東シナ海中央海域や韓国・済州島近海で調査船が確認  
7月4日前後から、津島近海で小ぶりのものが相次いで確認  
7月8日時点で、黄海付近で高密度の後続集団を確認
- 7月17日（みなど新聞）：山口県日本海側の長門市川尻岬を基点に周辺で調査船が24個体を確認  
(7月14日) 例年であれば8月上旬に初確認となるが、今年度は一ヶ月程度早い  
現在、対馬周辺海域に大量来遊している
- 7月21日、23日：九州北方海域で400個体を採集（水研センター14日発表）  
(水産経済) 移動予測（水研センター）  
[対馬周辺海域] 6月下旬に対馬海峡西水道に出現したクラゲは、その後も引き続き対馬近傍海域に流入してきている。今後、西水道から日本海に流入し、韓国東岸を北上後、沖合域を中心に分布を東方に広げる。7月下旬には隠岐諸島周辺に達し、8月上旬には分布の先端部が若狭湾周辺に達する  
[東シナ海] 東シナ海東部から済州島周辺海域で広範囲に出現されているが、7月中下旬には対馬海峡東水道へ流入、九州沿岸域へ出現  
今後、対馬海峡東水道（南側）からの流入が増加するおそれあり
- 7月31日（水産経済）：水研センター7月29日発表  
8月中旬には、分布先端が佐渡島周辺に達する可能性がある  
※当初、被害の大きかった年並の来遊予測が発表されたが、来遊量について不確かな状況  
「東シナ海での出現数が過去最大規模」とされるが、「現在、東シナ海での滞留が長引いている」  
「日本海に大量襲来した年は対馬東水道からの流入であったが今期、現段階では東水道への流入はあまりない」  
「西水道からの来遊も考えられる」とし、警戒態勢を要する
- (みなど新聞)：対馬海峡西水道から流入した大部分は韓国東岸を北上後、沖合域を中心に東方に分布を拡大。7月11日、対馬周辺海域で3,000個体を確認後、14日に山口県沖27日隠岐周辺で確認
- 8月17日（水産経済）：8月10日兵庫・福井の定置網で入網を確認。（各1個体）11日佐渡で確認、山陰から若狭湾は、本格的出現になりつつある

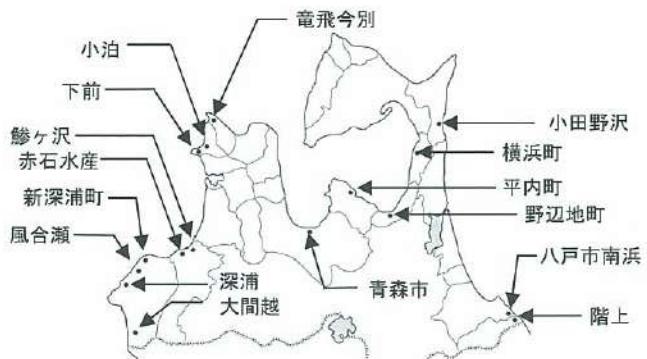


他県で定置網に入網した大型クラゲ

(写真提供：独立行政法人水産総合研究センター)

# 「命に着せる救命胴衣」 ペイント事業

青森県漁船海難防止・水難救済会では、漁港防波堤に「命に着せる救命胴衣」のペイントを行い、海難防止・救命胴衣着用を呼掛けております。  
実際にペイントを行った防波堤をご紹介致します。



## LGL(ライフガードレディース)推進中



大畠町漁協LGL（中央3名）

家庭から救命胴衣着用を推進するため、漁協女性部を対象に、LGL（ライフガードレディース）委嘱活動を実施しております。

これまで県内では、12漁協、延べ人数65名の方に委嘱を行っております。

委嘱のご希望がある漁協関係者の方々はご連絡下さい。

### ー事務局ー

青森県漁連・指導課内

青森県漁船海難防止・水難救済会

TEL 017-722-4218

FAX 017-722-5031

## 青い羽根募金とは



海難救助は、厳しい条件の中で行われるため、安全かつ迅速な救助活動を行うことができるよう、救難所員は常日頃から組織的な訓練を行うとともに、救難器具等の整備も必要です。

これらに必要な資金は、募金活動等により集められています。

日本水難救済会では、海上保安庁のご指導により昭和25年から「青い羽根募金」を開始し、周年で国民の皆様にご寄付をお願いしています。

## 水産に関する主な動き（1月～3月）

1月	事 項	場 所
7日(水)	仕事始め	
7日(水)	ほたて関係新年会（山本護太郎賞授与）	青 森 市
14日(水)	第20回青森県水産賞授与式	青 森 市
14日(水)	青森県漁村青壯年女性団体活動実績発表大会	青 森 市
15日(木)	青森県水産業改良普及会通常総会	青 森 市
19日(月)～21日(水)	J F グループ職員研修（消費流通他）	東 京 都
21日(水)	全国漁連（漁協）会長会議	東 京 都
26日(月)	全国漁連・信漁連専務参事会議	東 京 都
29日(木)	東北地区漁業漁協対策協議会代表者会議	宮 城 県
29日(木)	陸奥湾内漁業研究会長等連絡協議会	野 辺 地 町
30日(金)～31日(土)	本会監事会、監査会	青 森 市

2月	事 項	場 所
2日(月)～4日(水)	全漁連石油部門職員研修会	千 葉 県
9日(月)～10日(火)	漁協経営安定化に係る要請活動	東 京 都
22日(日)	漁業金融の円滑化に関する要請活動	青 森 市
23日(月)	漁業・養殖業漁場環境保全研修会	東 京 都
26日(木)	日本海地区漁業者協議会（資源管理）	五 所 川 原 市
26日(木)	むつ湾地区漁業者協議会（資源管理）	青 森 市
27日(金)	太平洋地区漁業者協議会（資源管理）	む つ 市

3月	事 項	場 所
2日(月)	加工業者とのほたて貝販売懇談会	青 森 市
5日(木)～6日(金)	第14回全国青年・女性漁業者交流大会	東 京 都
6日(金)～7日(土)	ほたて販売担当者会議・研修会	青 森 市
10日(火)	省燃油操業実証事業実施漁協担当者説明会	青 森 市
12日(木)	全国漁連・信漁連会長ブロック会議	東 京 都
16日(月)～17日(火)	J F グループ石油請求書事務オンラインシステム説明会	東 京 都
25日(水)	全漁連臨時総会	東 京 都
27日(金)	青森県漁業者協議会（資源管理）	青 森 市

## 水産に関する主な動き（4月～7月）

4月	事 項	場 所
13日(月)	漁業金融円滑化要請活動	東京都
16日(木)	青森県漁村活性化対策協議会協議会（総会）	青森市
22日(水)	本会理事会	青森市
27日(月)	漁業経営体質強化事業及び省エネ推進協業体活動支援事業に係る説明会	東京都
27日(月)	沿岸漁業者経営改善促進グループ等取組支援事業実施に係る説明会	東京都
30日(木)～1日(金)	本会監事會、監査会	青森市

5月	事 項	場 所
1日(金)	青森県小型いか釣漁業協議会通常総会	青森市
8日(金)	青森県漁業環境保全振興協会通常総会	青森市
12日(火)	全漁連ブロック会議	東京都
12日(火)～13日(水)	青森県漁協専務参事会通常総会、研修会	三沢市
20日(水)	青森県漁港漁場協会通常総会	青森市
20日(水)	青森県水産振興会通常総会	青森市
21日(木)	青森県漁船海難防止・水難救済会通常総会	青森市
21日(木)	青森県ほたて漁業振興基金通常総会	青森市
22日(金)	青森県漁業信用基金協会臨時総会	青森市
26日(火)	青森県漁船保険組合総代会	青森市
26日(火)	平成21年度水産関係補正予算関連事業説明会	宮城県

6月	事 項	場 所
1日(月)	青森県ほたて流通振興協会通常総会、記念講演会	青森市
14日(日)	ほたて供養祭・ホタテの日記念イベント	平内町
18日(木)	青森県漁協経営安定対策協会通常総会	青森市
22日(月)	「沿振協のあゆみ」発刊記念講演会	青森市
22日(月)	青森県漁業経営安定対策本部通常総会	青森市
22日(月)	第60年度（平成21年度）本会通常総会	青森市
22日(月)	本会理事会、監事會	青森市
23日(火)	青森県信用漁業協同組合連合会通常総会	青森市
23日(火)	青森県漁業共済組合通常総会	青森市
24日(水)	青森県JF共済推進本部定例総会	青森市
24日(水)	青森県漁業信用基金協会通常総会	青森市
26日(金)	全漁連通常総会	東京都
29日(月)	青森県ぎょれん販売株式会社定時株主総会	青森市

7月	事 項	場 所
7日(火)	あわび等密漁撲滅連絡協議会	岩手県
8日(水)	平成21年度補正予算関連事業説明会	青森市
9日(木)	漁業経営改善緊急支援事業に係る説明会	青森市
13日(月)	青森県ぎょれん販売株式会社定時株主総会	青森市
16日(木)	全国漁連・信漁連「専務参事会議」「指導担当部課長会議」合同会議	東京都
16日(木)	ぎょさい推進全国会議	青森市
19日(日)	第9回青森県和船競漕大会	青森市
27日(月)	2009甦れ!! 協同組合運動「青森県漁民大会」	青森市
28日(火)	青森県さけます増殖流通振興協会通常総会	青森市

# 青森ほたてキャラバン隊・親子料理教室 開催

〔(財)むつ小川原地域・産業振興財団支援事業〕

「親子料理教室」は、夏休み期間中の子供達を対象に、県産ほたての消費拡大や食育推進を目的として、青森県漁業協同組合連合会、むつ湾漁業振興会、青森県ほたて流通振興協会が主催し、弘前市、平川市、鶴田町で開催しました。

参加者は、講師の水嶋優子先生（栄養士）の指導のもと、主催者が提供した蒸しホタテとホタテマヨネーズ、青森米本部より提供いただいたお米で、コーンとホタテのピラフなど全4品を料理しました。食事会では、美味しい・美味しいと連発し、親子の笑顔がいっぱいの料理教室となりました。

食事会の後は、眠いのを我慢しながら、青森ほたての歴史や養殖についても学びました。

今後は、10月に大鰐町で開催を計画しています。



7月23日(木) 弘前市



7月28日(火) 平川市



8月11日(火) 鶴田町



鶴田町での「ほたて養殖」勉強会

稚貝の確保が大変・昭和38年「玉ねぎ袋」が画期的発明

## 〈ホタテ料理メニューと材料〉

蒸しホタテ・ほたてマヨネーズを使用した料理4品

### 1.ホタテマヨネーズとトマトのサラダ

ホタテマヨネーズ缶詰・キャベツ・キュウリ・トマト・塩

### 2.ホタテのベーコン巻き

蒸しホタテ・青じそ・ベーコン・サラダ油・塩コショウ・ミニトマト

### 3.コーンとホタテのピラフ

米・蒸しほたて・コーン・バター・コンソメ顆粒  
塩コショウ・パセリみじん切り

### 4.ホタテのチャウダー

蒸しホタテ・ジャガイモ・人参・玉ねぎ・ベーコン  
固体スープの素・水・牛乳



ほたて料理4品完成 美味しそう